

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2471300422		
法人名	社会福祉法人グリーンセンター福祉会		
事業所名	グループホームグリーントピア名張		
所在地	三重県名張市東田原2745番地		
自己評価作成日	令和2年7月1日	評価結果市町提出日	令和2年10月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigvosvoCd=2471300422-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigvosvoCd=2471300422-00&amp;ServiceCd=320</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会		
所在地	津市桜橋2丁目131		
訪問調査日	令和	2年	8月 18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑に囲まれた環境にあり、庭や畑を見ながら外気浴・散歩・お茶を楽しまれ、時にはガーデンパーティーを催すこともある。ボランティアの慰問や保育園児との交流運動会の開催と地域の市民センターの招待で行事にも参加させて頂くなど、地域交流に努めている。ご家族の希望があれば、看取りも実施している。同敷地内には、併設の特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・ケアハウス・居宅介護支援事業所があり、各事業所との連携が出来ている。施設内の地域交流ホールを活用した合同の行事もあり、広い視野での介護支援が出来ている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近鉄桔梗が丘駅から近い、緑に囲まれた広い敷地内にある事業所である。地域の市民センター行事七夕会、クリスマス会、文化祭等の行事に参加している。また、地域交流ホールで地域の方々やボランティアの参加で夏祭り等、法人合同のイベントを実施している。さらに実習生や中学生の職場体験の受け入れや、保育園児との交流がある。医療機関や協力医、デイサービスと兼務の看護師、職員との連携が取れている。施設長・管理者・職員は利用者が家庭的な雰囲気の中で安心して生活出来るように支援をしている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	“笑顔”“あいさつ”“言葉づかい”を念頭に置いて、実践につなげている。また、理念をホールに掲示している。	法人理念に基づいたスローガン「寄り添いと思いやりで気づく力を身に付ける」を掲げ、理念を共有しながら利用者の支援をしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設見学や職場体験・実習生の受け入れ、地域の市民センターの行事への参加、ボランティアの慰問など地域住民や子供達との交流を図っている。	地域の市民センターの七夕会、クリスマス会、文化祭に参加している。事業所の地域交流ホールを利用し、同一法人利用者と一緒に、ボランティア・民生委員・保育園児・地域住民と交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生やボランティアの受け入れを通じて認知症への理解を広めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者家族・地域代表者・名張市の出席で、運営推進会議において、客観的な視点で意見を頂き、情報交換をしている。職員間で議事録を回覧してサービス向上につなげている。	2か月に1回、特別養護老人ホームと合同で、民生委員・地域包括支援センター・市介護・高齢支援室・利用者家族の参加で開催している。職員間で運営推進会議の情報を共有し運営に活かしている。	運営推進会議のメンバーに、自治会関係者・老人会・地域の学識経験者等の参加について、関係者に向け働きかける事を期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で事業所の報告をして、必要に応じて助言を頂いている。介護相談員の訪問もあり、協力関係を築いている。	運営推進会議で市担当職員や地域包括支援センター職員と情報交換をしている。市介護相談員の訪問等で連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	緊急やむを得ない事由があるとき、家族には「緊急やむを得ない理由による身体拘束に関する説明書」を使用して同意を頂いている。毎月一回、身体拘束廃止推進委員会と身体拘束適正化委員会に出席して取り組んでいる。	特別養護老人ホームと合同で身体拘束廃止推進委員会と身体拘束適正化委員会を開催している。家族の同意を得て、1名の利用者の不穏対策として早朝の1時間程入り口を施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の委員会の中で情報交換している。年間研修計画で高齢者虐待防止研修を実施し、意識の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在該当者はいないが、研修し学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約時には文章と共に十分な説明を行い、要望や意見・疑問点がないかを聞き、理解・納得して頂けるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議では利用者家族が地域や行政と意見交換できる場を設けている。面会時にも家族の要望をお聞きしている。また、利用者とは日常会話の中で意見・要望を聞き業務に役立てている。	面会時に家族の意見や要望を聞くようにしている。運営推進会議で家族等の意見や提案を聞き、その内容を職員間で共有し事業所の運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の引継ぎやミーティング・日常会話の中で職員の意見を聞き、よりよくするために話し合っている。	引継ぎやミーティングで職員の意見や提案を聞いている。年に2回の個別面談で事業所運営についての意見や要望を聞いて事業所の運営に反映をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得により給与に反映させている。また、安全衛生委員会を設置し就業環境の整備をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修は月1回、施設外の研修にも参加を推進している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス協議会において、情報交換や交流を通じて自らのケアの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談や入所申請時には十分な話し合いに応じて、不安な事や要望を聞き、良い関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学をして頂き、契約時に話し合いを持ち、信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いの中から要望や意見を聞き、複合型のメリットを活かして、広い知識と視野で他のサービスも含め、優先すべき課題やサービスの見極めに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日中・夜間と暮らしを共にしているので、信頼関係は出来ている。一人一人が生きがいを持って生活が送れるように支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡時には日々の様子をお伝えしている。何かあれば電話連絡をし、情報の共有をして要望をお聞きしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	午後にお茶をしに出かけたり、食事に出かけることが出来た。	家族と墓参りに行く利用者がいたり、知人の来訪がある利用者もいる。また、年賀状や手紙を書いている利用者がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	談笑しやすい場所、くつろぎやすい場所の環境づくりをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	該当者はないが、要相談に応じる体制は整えている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の申し送りやミーティング・連絡ノートの活用で情報を共有し、意向に沿った支援をしている。	利用者との日常の会話から希望や意向の把握をしている。聞き取った情報を連絡ノートに記入し共有している。聞き取り能力のアップの為、職員間で話し合いを持ちながら支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族・本人・相談員などより、情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の様子観察や申し送りやミーティングなどで、職員間の情報の共有を図っている。また、看護師との連携を図り、一人一人にあった支援をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時には、家族の要望をお聞きし担当者の意見を聞いている。本人の状態や課題・ケアについて他の職員との話し合いの場を設けている。	担当者の意見を参考に、3か月毎にモニタリングを実施している。計画作成者が担当職員の意見を聞いて、家族や関係者の意見を参考に、半年に1回介護計画の見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタルチェック・食事・排泄などを日誌や個人記録に記入して、自職員間で情報の共有をしケアに生かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズに合った支援に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流ホールを活用した外部ボランティアの慰問、園芸、散髪を利用している。地域の市民センターの行事への参加の支援をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、嘱託医の診療を受け、健康管理ができています。また、個々の状態に応じた専門医の受診の支援もしています。	利用者全員が事業所協力医をかかりつけ医として、月1回の訪問診療を受けており、デイサービス兼務の看護師や医療機関との連携を図りながら健康管理を行っている。他科の受診は職員が同行している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に報告・相談をし、健康管理と医療的な処置を行なっている。また、看護師と連携を図り、24時間体制を整え緊急時に備えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、利用者情報を病院に持参して家族を交えて情報交換している。入院中は連絡を取り、経過を情報収集している。退院時には、退院前カンファレンスに家族と参加して連携を図っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の希望を入所時に聞かせて頂き、看取りの指針を定め、職員・主治医・看護師・協力機関と連携を取りながら、支援することとなっている。	入居契約時に、重度化した場合や看取りについての説明をしており、最近1名の看取りを行っている。重度化した場合は、協力医・看護師・家族・職員で話し合い支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故防止委員会を中心に事故の予防・対応を職員に周知している。急変時には24時間体制で看護師と連絡が取れるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防災訓練を日中想定と夜間想定で実施している。消防署と連携して助言を受けながら、訓練の充実を図っている。地域の非常時の福祉避難所にもなっている。	年に2回、防災訓練を実施しており、3日分の食料と水が備蓄してある。市の福祉避難所に指定されていて、市の防災無線機が有り、市の防災訓練で無線連絡が入るようになっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の思いを大切に、個々にあった言葉かけを心掛けている。また、年1回人権研修で学習している。	呼称はさん付けで呼んでいる。利用者への言葉遣い、トイレ介助での声掛けはプライバシーを損なわないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・想いを傾聴して、自己決定が出来るように働きかけている。また、意思疎通が困難な場合でも言葉かけで働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝・散歩・外に出たいなど、一人一人の思いに添って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みのある衣類や小物を持参され、その人らしい整容が出来るように、支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗いやテーブル拭きなど、出来る事をして頂いている。	副食は給食業者が作った料理を盛り付けてる。時には回転寿司やファミレスで外食を楽しんだり、中庭でお楽しみ昼食の手作りサンドイッチを食べたりしている。利用者は職員の手作りのケーキ・おやつ・手作り料理を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の身体状況に応じて、摂取しやすい形態や量を提供し、食事摂取量の記録をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前や毎食後、歯磨き・マウスウォッシュを使用したうがい・口腔ケアスポンジ・口腔ウェットティの使用を本人の状態に合った方法で支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的なトイレ誘導や行動・仕草の様子を観察し、誘導のタイミングを考慮して支援している。	布パンツ2名、紙パンツ3名、紙オムツ2名であるが、各居室にトイレが設置されていて、一人ひとりに合わせた声掛けや誘導で、自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医療との連携で排便コントロールをし、毎日の乳製品の飲用や外気浴や体操で体を動かす機会を作り働きかけをしている。また、全介助の方の未排便が続く時は、トイレ排泄の支援をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人一人の体調を考慮して、看護師と連携を取り入浴の支援をしている。家族や利用者の希望に応じて、機械浴も利用出来る。	広い浴槽の檜風呂でゆったり、のんびりと入浴ができる。入浴が困難な場合は特養の機械浴が利用できる。ゆず湯を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各居室のベッドや椅子、フロアのソファで好みの場所で休息出来る環境に配置している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬について理解できるように、処方ファイルに綴じ、内服薬表や薬の効能をキッチンに貼っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活や日常会話の中から楽しみを見出し、気分転換が図れるような生活の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	毎日外気浴をしている。定期的に地域の行事への参加や外食やお茶をしに出掛けている。コロナ対策では、入所者の方々の希望を聞き、テイクアウトの利用をしている。	事業所周辺を散歩したり、庭で外気浴をしている。また、地域の行事に参加したり、法人のリフト車で季節の花見に出掛けている。回転寿司やファミレス等で外食を楽しんでいる。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小口現金をお預かりしているが、支払いの困難な方はほぼ全員。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたい希望の時は、家族が電話に出やすい時間帯にかけさせて頂いている。手紙を書かれる方は、一緒にポストに投函しに行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	緑に囲まれた環境にあり、室内は明るく外の景色を見る事が出来ている。季節の花など、季節感を取り入れる工夫をしている。	採光の良い居間兼食堂は開放的でとても明るい。窓から花壇や畑が見え季節の花や野菜で四季を感じられる。廊下にイスやソファが置いてあり、ゆっくり寛げるように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子を配置して、気の合った方たちがくつろげるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を置いたり、写真や好みの置物を飾られている。安全面も考慮して心地よい空間づくりに努めている。	各居室にエアコン・ベット・トイレ・洗面台・テーブル・椅子が設置されている。西側の居室には日よけがあり、居室はとても広く安全で居心地の良い生活空間である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの環境で移動しやすく、安全に生活できる場となっている。自立した生活が出来るように、名札や目印を付けている。		